

みんなのふさと

夢プロジェクト

あおぞら共和国

“あおぞら共和国” 「春のあおぞらキャンプ(旧 たくさんイベント)」 開催のお知らせ

来春4月11日(金)～13日(日)に“あおぞら共和国”にて難病のご家族のキャンプ「春のあおぞらキャンプ」を開催いたします。春のあおぞらキャンプは、気球や星空観察会等イベント盛りだくさんの2泊3日のキャンプです。

今回は、普段中々ご利用いただく事が難しい遠方の方にぜひとも多く参加いただきたく、交通費の補助をさせていただきます。交通費の補助は、北海道、東北、近畿、中国、四国、九州(沖縄含む)にお住まいの方を対象として、お一人様3万円を上限とした実費とさせていただきます。

ぜひ、この機会を有効に活用して、“あおぞら共和国”をご利用いただければと思います。ただし、ご宿泊には限りがございますので、お申込みが多い場合は、抽選となりますのでご了承ください。

尚、交通費補助は、“あおぞら共和国”を応援いただいている「甲府一高あおぞら会」様からご援助いただいています。

申し込みおよび詳細については“あおぞら共和国”のホームページをご覧ください。

<https://aozorakk.com>



あおぞら里山づくり

10月16日、11月20日とサントリー白州工場の方が多数来て下さりました。10月は長丸太2本を使って、アスレチックができました。11月には丸太を運び、薪割りを行いました。皆さんのお力で廃材置き場も片付き、その廃材も次回の活動ではチップに変わります。そしてそのチップはあおぞらの森で、遊歩道に撒かれて歩きやすい道になります。(青柳 耕作)





『あおぞら』は夜になると『ほしぞら』になる!! 〈お掃除ボランティアのススメ〉

“あおぞら共和国”担当理事 荻須 洋子

11月8日(金)～9日(土)の1泊2日で“あおぞら共和国”のお掃除ボランティアを行って来ました。昨年に続き2回目になります。同行者は私の中学時代の同級生7名とその家族の2名の計9名です。8日の早朝、都内から車で山梨県北杜市小淵沢を目指しました。予定を少し過ぎましたが、小淵沢駅で1名ピックアップし、最初の目的地は平山郁夫シルクロード美術館です。滞在時間は短かったものの皆大感動!大満足してくれました。次は今回の大きな目的の一つ白州手打ち蕎麦『くぼ田』へ急いで向かい、10割蕎麦を昼食にしました。去年は美味しい蕎麦を食べ損ねたので、何としても食べたいと遅れて到着した者も皆揃い、またまた大満足!!

この後『くぼ田』の近くの山梨銘醸『七賢』、信玄餅の『金精軒』、きのこ専門店に寄り、『シャルマンワイン』を見学し、道の駅『はくしゅう』で、夕食の食材の買い物。

おいおい〈お掃除ボランティア〉はいつやるの??…や々と“あおぞら共和国”に到着して、一休みし、大目的の“あおぞら共和国”の〈お掃除ボランティア〉を開始したのでした。60年近く交流の続いた仲間たちで昨年の経験もあって、作業を始めるとそれぞれが持ち場に散り、黙っていてもどんどん仕事を進めます。今回の掃除は普段できない所ということで、高所のホコリ取り、食器棚の清掃を中心に行いました。自宅から高压洗浄機を持って来た者はじゃぶじゃぶ池にお風呂棟の浴槽、さらに3号



棟のデッキも綺麗にしてくれました。

夕食の前に職員の田中さんが、星空のガイドをして下さるとのことで、皆外の広場へ。この日は天気が良かったので、月が出ていたものの、たくさんの星を見ることができました。夕食を食べた後、月も沈んだ10時過ぎに再び広場に出てみると、更に星はキラキラと輝いてオリオン始めたたくさんの星々を見ることができ、またまた大感激!!この星に魅了されたひとは夜中も広場を徘徊したのでした!次の日も朝食の後2時間程掃除の続きを行いました。

お掃除を目的とした小旅行ですが、美術館に美味しい食事やお酒、絶景の八ヶ岳や富士山などの山々も堪能した2日間になりました。来年はもっと人数を増やして、又来ようと話しています。楽しく、美味しいお掃除ボランティア、皆様もいかがですか?



みんなのふるさと

夢プロジェクト

あおぞら共和国

利用者の声

わかばの会「お泊り会体験記」

2020年9月予定していたお泊り会はコロナ禍により実現できずにいました。満を持して2024年10月19日～20日“あおぞら共和国”にて無事開催されました。体験記の紹介です。

わかばの会はターナー症候群の本人と家族の会です。女の子だけの疾病で小児慢性特定疾病の一つです。

30年近く活動していますが、病気についての勉強会や患者同士の情報交換が大きな柱となります。中でも情報交換はデリケートな話題も多く、ゆっくり時間を気にせず話に集中できる“あおぞら共和国”は最高の環境でした。参加は14家族で参加者総数26名。

1日目、交流棟にて自己紹介から始まった交流会。本人たちによる講演とおやつを食べながらグループディスカッションが行われました。「とにかく私の話を聞いて!」「これは我が家だけ?»等々、他人に話せないことを話せる場が欲しかったという、会を立ち上げたころの原風景がよみがえりました。

夕食のケータリングのお食事はとても美味しくて話も進むパーティーになりました。夕方より降り始めた雨の

ために星空観察は中止になりましたが、夜中に天気が回復して満天の星空を見た方も多くいらっしゃいました。

食後の茶話会を3号棟で再集合して行いました。終わらない話の続きを各棟へ帰ってから時間を気にせず情報交換は続けました。以前も公共の施設や旅館を利用してお泊り会を開催していましたが、真夜中まで話が尽きず警備員さんに「静かにしてください!」と何度も注意されたことは残念な思い出の一つでした。しかし今回は静かすぎる“あおぞら共和国”、何も気にすることなく、薪ストーブの温かいパチパチという優しい音に癒されながら、各棟ぞんぶんに話ができたと大満足の感想がたくさん寄せられました。

2日目の朝は「あおぞらの森散歩」でスタートしました。森林インストラクターの畑さんによるガイド付き散策です。まさに“あおぞら共和国”といった晴天にめぐまれ、参加者一同大感動でした。

畑さんは「動けない植物がどのようにして縄張りを広げるのか?」というクイズを準備してくださり、森への興味が自然と湧く散策となりました。自然界の面白さを再発見でき、自然をたっぷり吸収して心も体も癒された貴重な時間となりました。

合宿の最後は各棟お掃除と点検、チームワークもばっちりで閉会式のみんなの笑顔が充実の2日間を表していました。

この度は、“あおぞら共和国”から心に残る楽しい思い出をたくさんいただきました。ありがとうございました。

感謝をこめて わかばの会幹事
山内 千恵美 西條 直美



みんなのふるさと

夢プロジェクト

あおぞら共和国

“あおぞら共和国”を
さらに楽しむための
おすすめ!!



“あおぞら共和国”のスタッフが、
北杜市かいわいの選りすぐり情報を
ご紹介します。

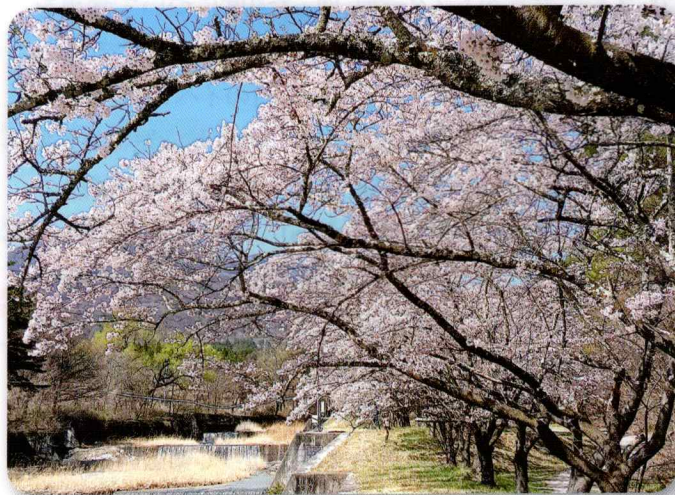
その1 お花見スポット

第3位

神宮川の桜（北杜市白州町）

“あおぞら共和国”から一番近い桜の名所です。明治神宮に奉納される白玉石の河原に流れる透明な水と約150本の桜が見事です。

（“あおぞら共和国”から車で約3分）



第2位

実相寺の山高神代桜（北杜市長坂町）

日本3大桜の一つ。樹齢2000年とも言われ、根回り13mになるエドヒガン桜の巨木です。他にもたくさんの桜と水仙が咲き誇ります。

（“あおぞら共和国”から車で約15分）

第1位

新府の桃源郷（韮崎市中田町）

あたり一面がピンク色の絨毯のようになる新府の桃源郷。少し小山を登って新府城跡から全体を見下ろすと遠くに美しいハケ岳も望めます。

（“あおぞら共和国”から車で約25分）





その2 お土産

第3位

台ヶ原金精軒の「生信玄餅」(北杜市白州町)

台ヶ原宿にある明治35年創業の老舗和菓子店の人気メニュー。特Aを連続で獲得した山梨県のブランド米「梨北米」と、地元産の大豆で造ったきな粉の極上の信玄餅です。

(“あおぞら共和国”から車で約5分)



第2位

七賢の「スパークリング日本酒」(北杜市白州町)

台ヶ原宿にある創業300年の老舗酒屋の技術と白州の水だからできるとても美味しいスパークリング日本酒は現在4種類ラインナップ。お酒の好きな方へお勧め。

(“あおぞら共和国”から車で約5分)

第1位

白州・山の水農場きのこと専門店の「しいたけ」(北杜市白州町)

超老舗2店を凌いでの第一位。2018年に営業を開始したお店でとても肉厚でジューシーなしいたけがお手軽価格で手に入ります。金・土曜日のみ営業しています。

(“あおぞら共和国”から車で約4分)





お知らせ

“あおぞら共和国”のインターネット予約が始まりました！
“あおぞら共和国”予約サイト



2025年3月末までは既存の「ご利用申込書」でのメール予約も
ご利用いただけます。
尚、4月1日からはインターネット予約のみとなります。



● **みんなのふるさと“夢”プロジェクト** ご寄附ありがとうございました。（敬称略・順不同）

特集

「山梨県と連携協定を 締結しました!」



山梨県と難病のこども支援全国ネットワークは、山梨県北杜市にある“あおぞら共和国”における「難病のある子どもたちに、かけがえのない交流体験」を目的とした「難病の子どもの未来支援事業」に関する連携協定を締結しました。

3月24日（月）には、山梨県庁防災新館において連携協定締結式が行われ、山梨県の長崎幸太郎知事および岡明会長が連携協定に署名、その後、共同記者会見が行われました。この模様はNHK山梨放送局のニュースで放映されたほか、山梨日日新聞にも記事が掲載されました。



長崎知事と岡会長

難病の子どもの未来支援に関する連携協定書

山梨県（以下「甲」という。）と、NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク（以下「乙」という。）は、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、乙が運営する「あおぞら共和国」（所在地：山梨県北杜市白州町島原字向林2913-134）が行う事業について甲及び乙が相互に連携し、難病あるいは障害（以下、難病等という。）を持つ子どもとその家族が豊かな自然の中で安心して滞在できる場を提供することによって、子どもの成長や自立、延いてはその家族の支援に寄与することを目的とする。

（連携・協力事項）

第2条 甲及び乙は、前条の目的を達成するため、難病等を持つ子どもに対する次の取組について連携・協力する。

- (1) 子どもの成長や自立に関すること
- (2) 子どもやその家族の交流に関すること
- (3) 宿泊等の活動体験に関すること
- (4) 家族への支援に関すること
- (5) 上記の取組の周知・広報に関すること
- (6) その他、前条の目的を達成するために必要な事項

（協定の見直し）

第3条 甲又は乙のいずれかが、協定内容の変更を申し出たときは、その都度協議の上、必要な変更を行うものとする。

（期間）

第4条 本協定の有効期間は、締結日から令和8年3月31日までとする。ただし、期間満了の1か月前までに甲乙いずれからも申し出がないときは、同一の条件で期間を1年間として自動的に更新するものとし、以降も同様とする。

（解約）

第5条 甲又は乙のいずれかが本協定の解約を申し出る場合、解約予定日の1か月前までに書面によって相手方に通知することにより、本協定を解約できるものとする。

（守秘義務）

第6条 甲及び乙は、連携・協力事項に関する検討及び実施により知り得た相手方の秘密情報を相手方の事前の書面による承認を得ずに第三者に開示・漏洩してはならない。

ただし、下記項目のいずれかに該当し、かつその事実を書面で証明できるものについてはこの限りではない。

- (1) 相手方から知得する以前に既に所有していたもの
 - (2) 相手方から知得する以前に既に公知であったもの
 - (3) 相手方から知得した後、自己の責によらないで公知になったもの
 - (4) 正当な開示権限を有する第三者から秘密保持義務を伴わずに入手したもの
 - (5) 相手方から開示を受けた情報とは無関係に独自に知得したもの
- 2 甲及び乙は、本協定が理由の如何を問わず終了した後も、前項に定める秘密保持の責務を負うものとする。

（その他）

第7条 本協定に定めのない事項又は本協定に定める事項に関して疑義等が生じたときは、甲乙の協議の上、これを決定するものとする。

この協定の成立を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印の上、各自その1通を所持する。

令和7年3月24日

甲 山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号
山梨県知事

長崎 幸太郎

乙 東京都文京区本郷一丁目15番4号 文京尚学ビル
認定NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク
会長

岡 明

ごあいさつ

ただいまご紹介をいただきました認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワークの会長の岡でございます。この度は、長崎知事を始め山梨県様には、私どもの活動に深いご理解をいただき、心より御礼申し上げます。



難病のあるお子様やそのご家族は、病気と闘いながら様々な困難や制限を受けて生活をしております。当会は、そうした難病のあるこどもやご家族を支援するために、家族の会の方々と、こどもの医療福祉教育の関係者などの支援者が一緒になり、みんなの笑顔につながる様々な事業を、30年以上にわたり行って参りました。

山梨県とのご縁は、篤志家の方から北杜市に3千坪の土地の提供をいただき、レスパイト施設“あおぞら共和国”を2014年に開設させていただいたことから始まりました。難病や障がいのあるこどもたちは、泊りでの旅行に行くにも、車いすやバギーなどが大丈夫か、食事にも特別な配慮がいただけるか、迷惑をかけたりしないかなど、いろいろな心配があります。家族での旅行も簡単なことではありません。安心して気兼ねなく過ごせる居場所が欲しいというお声をいただき、開設に向けてのプロジェクトが始まりました。北杜市のすばらしい自然と触れ合い、大地を実感しながら、みんながふるさととして集まれる場所を目指して施設を準備して参りました。この間、北杜市

様や甲府一高あおぞら会の皆様など、県内の多くの方々にご支援をいただき、誠にありがとうございました。

山梨県内の難病のあるこどもとご家族にもご利用はいただいておりますが、地元の皆様とのつながりがまだまだ不十分で、とても残念に思っておりました。この度、山梨県の方からお声掛けいただき、私どもと連携をいただけるということで、本当にありがたく思っております。

具体的には、難病や障がいのあるご家族が施設を利用していただく際にサポートをいただくなどして、県内のご家族がさらにご利用しやすい様にできればと思います。そしてあおぞら共和国の場で、難病のあるお子さんが、健常者のお子さんたちや地元の方々と交流していただく機会もできればと考えております。この4月にはあおぞらキャンプというイベントを開催して、そのプログラムとして気球に乗っていただいたり、プラネタリウムの体験や遊びのワークショップなどを行いました。

県内の皆様には是非ご参加いただければと思います。

様々な事情で家族でのお出かけがためらわれる難病のあるこどもとご家族に、当会のあおぞら共和国をみんなのふるさととして、さらに活用していただき笑顔を増やしていければと思います。今回のその目的でクラウドファンディングをお願いしたいと思っております。どうかよろしく願いいたします。ありがとうございました。

山梨県は、連携協定締結式当日の3月24日から、“あおぞら共和国”の整備費、イベント開催費、広報費などを募るために、目標金額850万円に設定したクラウドファンディングをスタートいたしました。本件は、山梨県の「ふるさと納税制度」を活用するため、

返礼品の贈呈（ただし、山梨県民は除く）のほか、一般の「ふるさと納税」と同じく、所得税と個人住民税の寄附金控除の対象になります。

皆さまからの応援をぜひともよろしくお願い申し上げます！

山梨の豊かな自然の中で難病のこどもたちにかけがえのない体験を

山梨県職員 齊藤 由美子

令和6（2024）年度のはじめに、本県の長崎知事から「闘病生活を強いられる全国のこどもたちに、本県の豊かな自然の中で貴重な体験を提供できないか」と職員に投げかけがありました。山梨県内の小児慢性特定疾患のこどもは五百数十名おりますが、これまでは相談支援業務を中心とした支援体制であったため、手探りの状態でのスタートとなりました。

一方で、令和5（2023）年度に、山梨県が小児慢性特定疾病児やその保護者に実施したアンケートでも、病児の成長発達、治療や経済面の悩みだけでなく、病児の居場所の確保や同世代の仲間との交流不足が課題であることを認識していました。そのような中、当時の井上福祉保健部長から、北杜市の「あおぞら共和国」と連携し、こうした課題を解決することができないかとの提案がありました。この時点では、「あおぞら共和国」の存在は知っていましたが、運営法人や施設の詳細までは把握していませんでした。

知事の思い、保護者の悩み、それを結びつけることはできないかと考えつつ、令和6（2024）年5月に「あおぞら共和国」の施設を訪問し、取り組みについてご説明をいただきました。この施設では、難病の子どもたちとその家族に希望と勇気をとという理念のもと、全国の難病のこどもとその家族を対象に宿泊棟の無料貸出や各種交流イベントを実施されていること、その活動費用は寄附で成り立っているため不安定であることを伺いました。また、この施設の利用者の多くは山梨県外の方で、県内の利用者は少ないことがわかりました。そこで、「あおぞら共和国」を運営する認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワークと山梨県が連携することで、県内

はもちろんのこと県外の難病の子どもたちの居場所や同世代との仲間との交流機会の創出を一層充実させるお手伝いができないだろうか、同法人の方々と相談を重ね、県庁内で検討をすすめていきました。

令和6（2024）年11月には知事が現地視察を行い、難病の子どもたちが山梨県の豊かな自然の中で活動体験できる機会を創出することで、全国の難病の子どもたちをサポートするという強い決意が、改めて知事から示されました。こうしたプロセスを経て、山梨県は認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワークと、令和7年3月24日に「難病のこどもの未来支援に関する連携協定」を締結し、「あおぞら共和国」の活動を支援することになりました。

山梨県は、施設内の遊歩道整備や交流イベント開催などの活動だけでなく、県内でのアクティビティなども提案し、利用者にとってかけがえのない体験ができる場所となるよう施設の運営を支えています。同時に、同法人がもつ全国とのネットワークや、多くの経験・知見をご提供いただき、令和7（2025）年度からは、同法人に委託した県内の小児慢性特定疾病のお子さんご家族を対象とした相談事業を開始します。このように、県内の難病の子どもとご家族に対する相談対応や助言などの支援強化に取り組んでいきます。

前述の協定締結式において、長崎知事は「協定締結を機に、難病であっても自分らしく活躍できる『共生社会』を、この山梨から実現していく」と決意を述べました。

山梨県は、全国の難病で苦しむ多くの子どもと家族が集い、交流することで療養生活に立ち向かう活力を得てもらえる環境を整備して参ります。

難病の子ども未来支援事業について

引用：山梨県ホームページ

https://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/nanbyoukodomocf/nanbyoukodomocf_intro.html



難病の子ども達に、かけがえのない交流体験を！
— 難病の子ども未来支援事業 —

R7.3.24～受付開始！

目標金額：8,500,000円

あおぞら共和国を支援する

やサマーキャンプなどのイベントの運営、広報活動の更なる強化に使用されます。

山梨県と認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワークは、難病の子ども達への支援に連携して取り組むため、令和7年3月24日に協定を締結しました。

寄附のお申し込みについてふるさと納税制度を

山梨県は、難病の子どもとその家族の支援のため、ふるさと納税クラウドファンディングによる寄附を募集し、認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワークが北杜市で運営するレスパイト施設『あおぞら共和国』の活動を支援します。いただいた寄附金は、より多くの難病の子どもとその家族が、この施設を安全かつ快適に利用できるよう、『あおぞら共和国』が行う施設内の環境整備

活用しておりますので、返礼品の贈呈のほか、寄附していただいた金額から2千円を差し引いた額が、一定の限度（おおよそ個人住民税の2割の額）まで、寄附した年の所得税と、寄附した翌年の個人住民税から控除されます。

※山梨県内在住の方は、ふるさと納税に関する税金の寄附金控除は受けることができますが、山梨県からの返礼品はございませんのでご了承ください。

寄附への協力をいただける方は、寄附申出専用フォームに必要事項を登録してください。後日、県より納入通知書をお送りさせて

いただきますので、最寄りの指定金融機関（山梨県内金融機関、全国のみずほ銀行、郵便局）で納付をお願いします。

寄附申出専用フォーム

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=RXGmqaz1j0-txs0C0tgeb23kyvtMjoxCpSUme-DjftthUOUxBWfJHTExsNEgxUFISWfNKOVcyQkczRC4u>



みんなのふるさと

夢

プロジェクト

あおぞら共和国

がんばれvol 209に引き続き、
“あおぞら共和国”をさらに
楽しむためのおすすめ
第2弾をお届けします。



“あおぞら共和国”の
スタッフがおすすめる
いろいろなジャンルの
トップ 3

その1 景色の良いところ

八ヶ岳や南アルプス、そして富士山といった雄大な山々に囲まれた“あおぞら共和国”周辺は、抜群の景色を楽しめます。

第3位

水車の里公園（北杜市武川町）

甲斐駒ヶ岳をはじめとする南アルプスと山並みと田園風景を楽しめる、水車と広場のある公園です。

（“あおぞら共和国”から車で約12分）

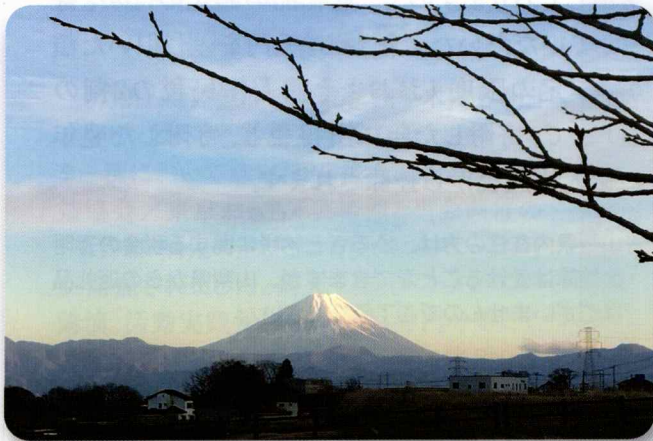


第2位

幸福の小路（韮崎市神山町）

ノーベル生理学・医学賞の大村智博士が中学時代に歩いた通学路。美しい富士山と八ヶ岳連峰の絶景を楽しめます。八重桜の咲く季節がおすすめ！

（“あおぞら共和国”から車で約25分）



第1位

三分一湧水館下のそば畑

（北杜市長坂町）

甲府盆地越しの美しいシルエットの富士山、南アルプスの北岳と日本の高峰トップ2を見る事ができます。そばの花が咲く季節は最高！

（“あおぞら共和国”から車で約18分）





その2 名水スポット

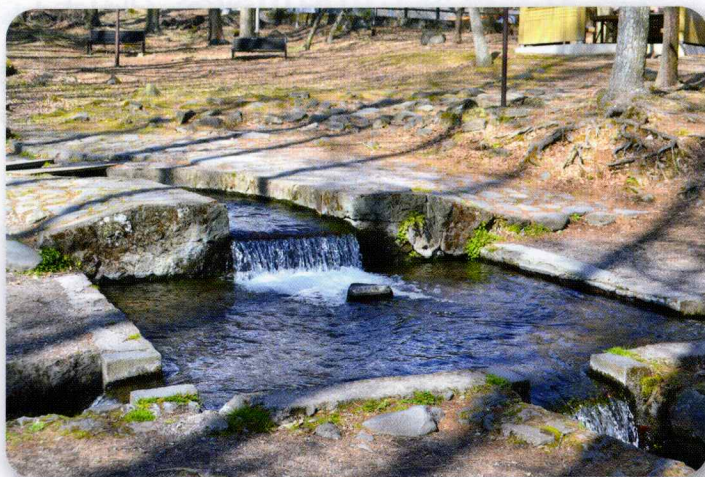
雄大な山々に降った雨や雪が長い年月をかけて湧水として湧き出します。
その天然水は他県から多くの方が汲みに来ています。

第3位

三分一湧水（北杜市長坂町）

八ヶ岳南麓の標高1000mに位置する湧水。戦国時代に武田信玄が置いたとされる、三角石が今も水を3方に分割しています。

（“あおぞら共和国”から車で約18分）



第2位

道の駅はくしゅう（北杜市白州町）

南アルプス天然水がいつでも飲めます。地元の方も毎日たくさんこのおいしい水を汲みに来ます。

（“あおぞら共和国”から車で約5分）

第1位

大滝湧水公園（北杜市小淵沢町）

精霊が住まうようなとても趣のある大滝神社にある地域でも人気の高い湧水です。

（“あおぞら共和国”から車で約10分）



みんなのふさと

夢プロジェクト

あおぞら共和国

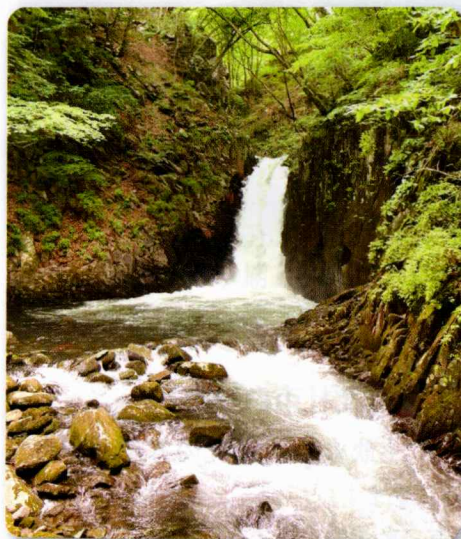
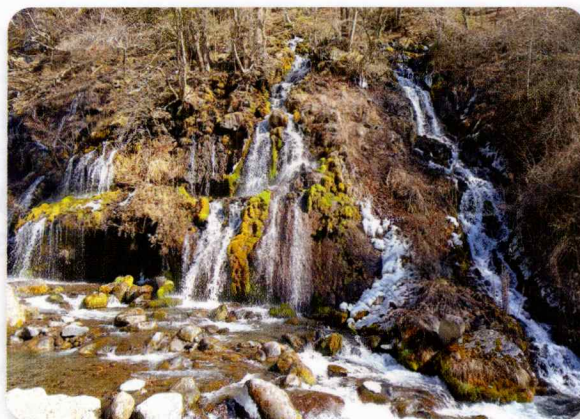
その3 滝と溪流散策

湧水の滝、エメラルドグリーンの清流の滝、北杜市は滝と溪流散策もおすすめ。普通のスニーカーでも行く事のできるおすすめスポットをご紹介します。

第3位 吐竜の滝と川俣川溪谷（北杜市大泉町）

八ヶ岳の湧水がいく筋もの小さな滝となり何段にも流れ落ちる様はお見事です。駐車場から川俣川沿いの比較的平坦な道を徒歩10分程度で到着します。

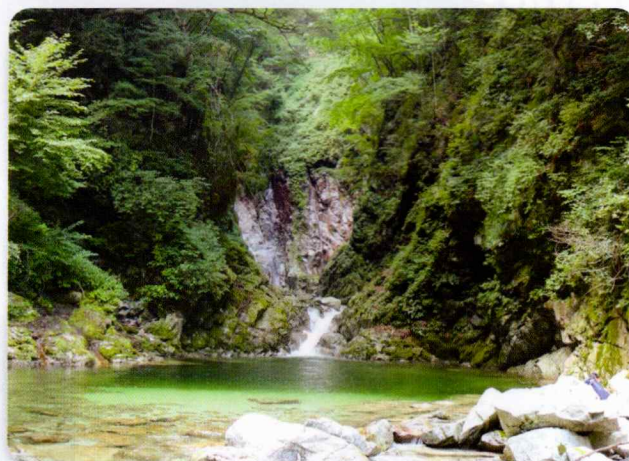
（“あおぞら共和国”から駐車場まで約30分＋徒歩10分）



第2位 大滝一の滝と大門川（北杜市高根町）

吐竜の滝ほど知られていない知る人ぞ知るという名滝。深い森の中の清流に癒されます。駐車場から少し急な勾配を10分程下ったところにあります。

（“あおぞら共和国”から約40分＋徒歩10分）



おじらがわ

第1位 千ヶ淵と尾白川溪谷（北杜市白州町）

尾白川の白い岩肌に流れるエメラルドグリーンの水は見るだけで癒されます。溪谷にはたくさんの滝がありますが、駐車場から徒歩15分程度のところにある千ヶ淵は気軽に行ける絶景スポットです。

（“あおぞら共和国”から車で約10分＋徒歩15分）



いしうとろがわ

しょうじがたき

〔番外〕石空川溪谷と精進ヶ滝 （北杜市白州町）

南アルプスの少し奥まったところにある石空川溪谷を駐車場から約40分～1時間程度登ったところにあるのが東日本一の落差121mの精進ヶ滝！しっかりと山を登るので番外としましたが、溪流の美しさや途中にあるいくつもの滝の景観は本来なら第一位です。

（“あおぞら共和国”から車で約20分＋徒歩50分）



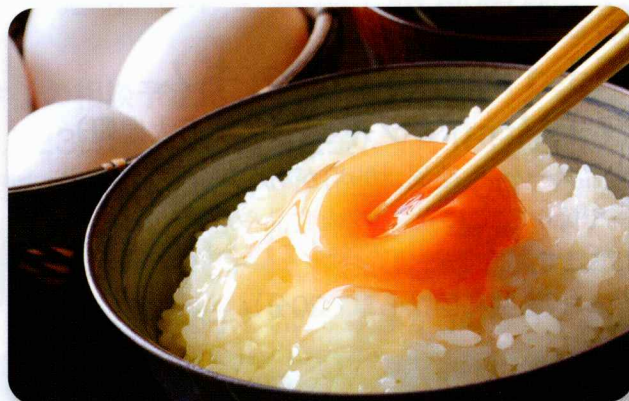
その4 ランチ

“あおぞら共和国”周辺のおすすめランチスポットをご紹介します。各お店、定休日や営業時間はホームページでチェックください。

第3位 おっぽに亭こっこ（北杜市白州町）

平飼い鶏とそのたまごにこだわったお店。卵かけご飯、鶏汁定食、鶏カレーがおすすめです。

（“あおぞら共和国”から車で約6分）



第2位 Kaikoma kitchen（北杜市白州町）

地元の素材にこだわったイタリアン。店内もおしゃれで新鮮野菜のサラダもおすすめです。

（“あおぞら共和国”から車で約6分）



第1位 白州手打ち蕎麦 くぼ田

（北杜市小淵沢町）

台ヶ原宿にある、おいしくて上品なお蕎麦屋さんです。

天ぷらもさっくさく

（“あおぞら共和国”から車で約7分）



〔番外〕 sandwich&deli ピクニック！

（北杜市白州町）

素材にこだわったとってもおいしい手作りサンドイッチのお店。テイクアウト専門なので番外…公園に持って行ってピクニックランチを！

（“あおぞら共和国”から車で約5分）



プロジェクト

あおぞら共和国



その5 お買い物

高速道路のインターを降りてから、“あおぞら共和国”までの道中にある、なんでも揃う便利なお買い物スポットをご紹介します。

第3位

須玉インター近くのオギノ、ダイソー、マツキヨ（北杜市大泉町）

食品スーパー、薬局、100均があるので、須玉インターで降りてここに立ち寄ると食品や忘れものなどほぼここで調達できます。

（“あおぞら共和国”から車で20分）



第2位

きららシティ長坂&綿半ホームメイド &肉と魚のわたなべ連合（北杜市長坂町）

長坂インター最寄り、食品スーパー、ホームセンターそして夕食に焼肉やすき焼きなどをするなら、わたなべがおすすめです。

（“あおぞら共和国”から車で約20分）

第1位

道の駅はくしゅう&セルバ白州エブリ（北杜市白州町）

道の駅はくしゅうは地元の採れたて野菜がお手頃価格で手に入ります。手作りお弁当もおすすめ。同じ敷地には食品スーパー「セルバ白州エブリ店」もあります。

（“あおぞら共和国”から車で約5分）



● “あおぞら共和国”でご寄附ありがとうございました。

①個人が寄附をした場合

当会に寄附をすると、国税と地方税をあわせて、寄附金額の最大50%が税額から控除されます。

②法人が寄附をした場合

法人が当会に寄附をした場合は、一般寄附金の損金算入限度額とは別に、別枠の損金算入限度額が設けられており、法人は、その範囲内で損金算入が認められます。

③相続人等が相続財産権等を寄附した場合

相続又は遺贈により財産を取得した者が、その取得した財産を相続税の申告期限までに当会に対し、寄附をした場合には、その寄附をした財産の価値は相続又は遺贈に係る相続税の課税価格の計算の基礎に算入されません。